

琵琶湖の保全・再生とCO₂ネットゼロに向けた持続可能な森林づくりの推進

- ▶ 本県の森林が持つ多面的機能を持続的に発揮させるためには森林の保全・整備が重要。よって、本県の森林づくりの推進に対して、安定的な支援を図られたい。

【要望先】内閣府、財務省、農林水産省

1. 提案・要望内容

(1) 持続可能な森林づくりに必要な情報基盤整備に対する財政支援

- 主伐・再造林や木材流通等の効率化による採算性を向上させるため、ICTを活用したスマート林業に向けた高精度の地形および資源情報等の基礎データ構築のために財政支援の強化

(2) 森林整備事業に対する財政支援

- 「しがCO₂ネットゼロ」の実現に向けた森林吸収源対策強化のため、採算性が高い地域での主伐・再造林や間伐の推進など森林整備事業に対する財政支援の充実・強化

(3) 治山事業に対する財政支援

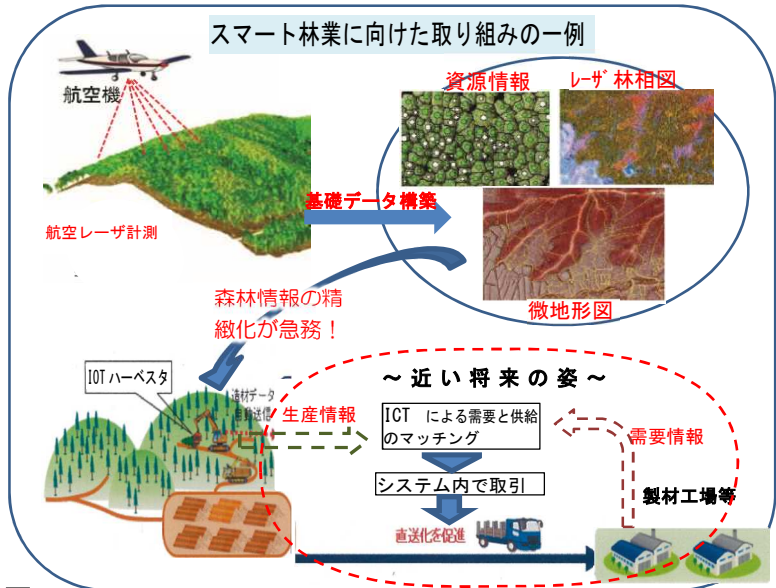
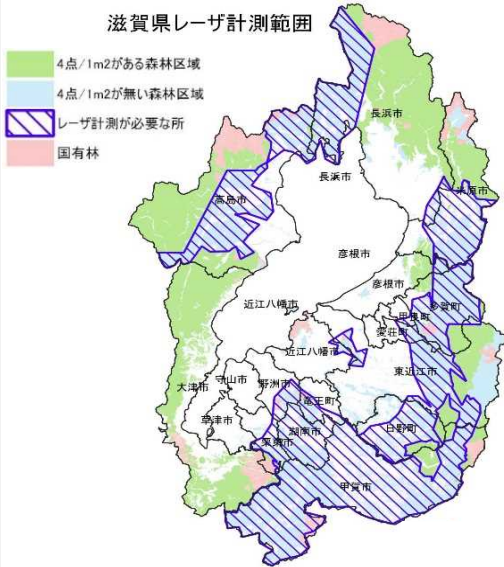
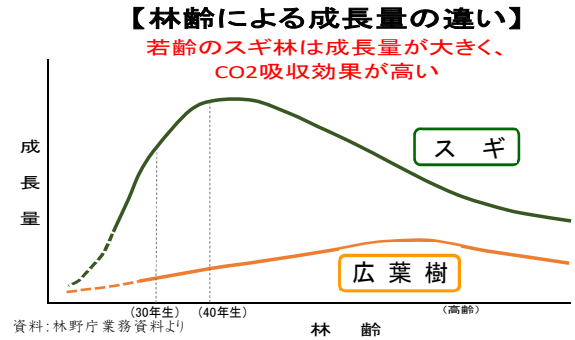
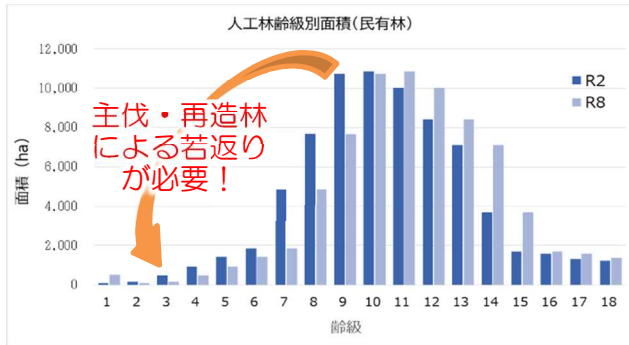
- 近年、増加している集中豪雨や台風等による土砂流出や流木被害への対応や流域治水の推進に向けた治山事業に対する安定的な財政支援
- 施工時期の平準化に向けた計画的な事業執行のための制度の充実

2. 提案・要望の理由

- 琵琶湖保全再生法に基づく国民的資産である琵琶湖の保全・再生や淀川水系流域治水プロジェクトの推進、SDGsの目標達成に向けて、森林・林業のための重点的な対策が必要。
- カーボンニュートラルに向けて、本県は「しがCO₂ネットゼロ」に取り組んでおり、主伐・再造林による森林資源の若返りと計画的な間伐の推進などにより、森林吸収源対策の強化が必要。
- 「適切な伐採と更新を着実な実施」や「持続的な森林保全と管理」に有用な状況把握をしていくために、航空レーザ計測による高精度の地形解析や資源解析等が急務のため、重点的な財政支援が必要である。また、ICT活用による業務の効率化とコスト縮減が急務。
- 気候変動の影響により大雨の発生頻度がさらに増加することが懸念されるなか、災害復旧工事の早期完了や、防災・減災、国土強靱化のために治山事業への安定的な支援が必要。
- 改正品確法において、「公共工事等の実施の時期の平準化」が発注者の責務として規定されたため、年間を通して工事発注が円滑に行えるよう、現行制度の柔軟な運用や効果的な仕組みづくりが必要。

(本県の取組状況と課題)

■森林整備事業における課題■

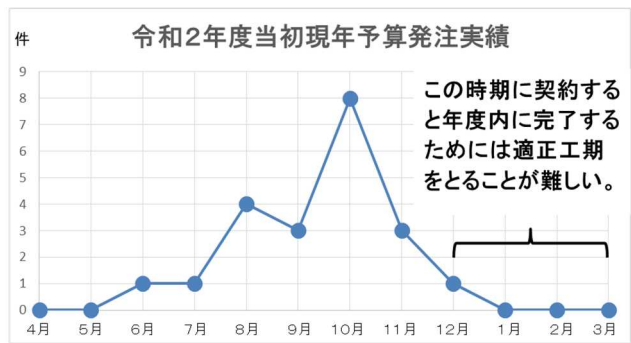


■治山事業における取組状況と課題■

○山腹崩壊による被害及び復旧状況 (H25 災害)



○山腹崩壊により林道被災 (H30 災害)



担当：琵琶湖環境部森林政策課 TEL 077-528-3914
森林保全課 TEL 077-528-3930